

令和8年度 事業計画書

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 31 日

社会福祉法人 エージングライフ福祉会
クレネ堺

令和8年度 エージングライフ福祉会

クレーネ堺

介護・看護目標

1. 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し接遇の基本を守る
2. 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する
3. やりがいのある介護・看護を
実践する

R8 年度 特養介護目標

1. 高齢者の人権を尊重し、共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する。

①認知症等で判断の難しい方に対しても、介護をしてあげるという態度をとらない。
また、以下の虐待行為を行わない。

<身体虐待> <言葉・心理虐待> <性的虐待> <介護放棄> <経済虐待>

②高齢者介護のプロフェッショナルとして、ひとりひとりの思い、心配、嬉しい等を受け止め共感し、心身の状態や希望に沿った支援を行う。

③法令等を常に確認し、そのルールに基づいたサービス提供を行う。

④利用者に対しても、家族に対しても、いつも同じく丁寧な対応、丁寧な話し方を意識し、話をよく聞くことに努める。また、人が見ている時も、見ていない時も、いつも変わらぬ 対応を行う。

2. 高齢者が安全、安心が得られるよう支援する。

①安全を確保し、環境整備や感染予防などの管理をしっかりと行う。

②ケア提供に伴う介護事故発生ゼロを目指し、介護技術の向上に努める。

③利用者の生活に伴う介護事故は被害の最小化を目指し、環境整備、事故予防対策に取り組む。

④看護師と連携を図り、安全に努める。

3. やりがいのある看護・介護を実践する。

① 生活全体に目を向け、その人にとっての最善の方法を考えるカンファレンスを開催しケアプランに繋げていく。

② しっかりと情報収集し、利用者理解に努める。

令和8年度 基本理念に基づく看護目標

医務

1・高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守る

- 1) ご利用者様の気持ち・ご家族様の気持ちを考慮し、疾患・問題行動に取り組む
- 2) 利用者に寄り添い話を傾聴し、常に笑顔で接する
- 3) 疾患や問題言動に対応する前に本人の気持ち家族の気持ちを考えて対応する。

2・高齢者の自立支援・尊厳の保持・残存機能の維持に努める

- 1) 看護師間で根拠を確認し、共通認識のもと介護職に伝える。
- 2) 施設看護師の役割として生活総合的に判断して支援。
(予防的視点・治療に対する支援・異常の早期発見・個別性をみる)
日々多種多様な視点を収集できるように努める。
- 3) 利用者・家族・介護職に安全・安心をもってもらえるような看護に努める。

3・やりがいのある看護の実践

- 1) ヒューマンケアの基本的な能力
- 2) 根拠に基づき、看護を計画的実践する能力
- 3) 健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力
- 4) ケア環境とチーム体制を理解し、活用する能力
- 5) 専門職者として研鑽し続ける基本的能力を設定

令和8年度 基本理念に基づいた介護目標

グループホーム クレーネ堺

1. 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する。

○個別性を重視し、利用者の人生歴、背景にも目を向けながら、適切な介護過程の展開ができる。

○ひとりの人間として利用者の意思および人格を尊重し、認知症の特性を理解したうえで、適切なケアを実施することができる。

2. 高齢者が安全、安心を得られるよう支援する。

○相手を理解しようとする謙虚な姿勢、思いを持ち続けることで、信頼関係の構築に繋げることができる。

○利用者および家族等の意見、要望等を把握することで、サービス向上に繋げることができる。

3. やりがいのある介護を実践する。

○利用者、家族、職員など関わる全ての人が、互いに尊重し大切であるという思いを持ち続けることができる環境を整えることで、様々なハラスメント防止に繋げることができる。

○法人内研修・外部研修の参加により自己研鑽を怠らず、新人職員への指導と全職員の知識・技能の向上を目指し、現場での実践に繋げることができる。

令和 8 年度 基本理念に基づいた介護目標

グループホームフローラ

1. 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守る。

- 利用者個々の認知症状を理解し、自尊心を傷つけないよう、利用者の不安を受容・共感・寄り添い、傾聴することで信頼関係及び馴染みの関係を築く。
- 利用者を敬う気持ちを持ち、ひとつひとつの動作を見守り、自立支援につながるよう利用者主体のケアを行う。

2. 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する。

- 利用者の言葉に耳を傾け寄り添い、笑顔で接することで利用者が穏やかに過ごことができるよう、心地の良い言葉かけを心掛け、安心できる環境を作る。
- 利用者個々の変化から危険を予測できるよう状態を把握し、転倒予防に繋がる判断力を身につける。

3. やりがいのある介護を実践する。

- 認知症であると決めつけず、利用者個々の認知症状について理解し、出来ること・出来ないことを見極める力を養う。
- 職員間でのコミュニケーションを図り、会議や申し送りで情報共有し、働きやすい職場づくりに努める。

令和 8 年度 基本理念に基づく介護目標

デイサービスセンタースクレーネ堺

1.高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する

- ・利用者、家族の意向に対して安心感を得られる様に努め、信頼関係を築ける様利用者、家族共の声に傾聴を行う。
- ・心身共にゆとりを持ち、おもてなしの気持ち、寄り添う心を持ち利用者の方に接する。

2.高齢者が安全、安心を得られる様に支援する

- ・フロアー内の環境整備を行い、利用者が安全に過ごせる空間を提供する。
また送迎時は安全、ゆとりを持ち利用者の方の送迎に努める。
- ・利用者の状態を観察し報告、連絡、相談、を徹底し情報の共有、介護の統一を行う。

3.やりがいのある介護・看護を実践する。

- ・利用者の意欲を引き出し、喜びや達成感を感じて頂けるレクリエーションを提供する。また季節に応じたイベントの開催も行う様に務める。
- ・利用者個々の状態に応じた介護サービスを提供し、より良いサービス提供を行う。

令和8年度 基本理念に基づく介護目標

ヘルパーステーション クレーネ堺

エージングライフ福祉会 クレーネ堺 介護目標

- 1 高齢者の人権を尊重し、共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する。
- 2 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する。
- 3 やりがいのある介護を実践する。

ヘルパーステーション 介護目標

<基本方針>

ヘルパーステーション クレーネ堺は、利用者が住み慣れた住宅環境で、心豊かに日常生活が営むことができるように、利用者と家族のご意向に基づいた介護サービスの種類や内容の計画をもとに、いつも優しくサービスが確実に提供されるように他のサービス提供事業者と連携を図り、安心してサービスが受けられるように心がけていきます。

サービス提供に当たっては、常に自立支援を目標に心身の状態や特性に考慮したサービス提供を実施していきます。

今年度は「心が満たされる介護」を目標として支援を行います。

<取り組み>

- ① ケアプランに基づき個別サービス計画を作成し、過不足なくサービスが提供される体制を整えます。

訪問時にサービス計画の作成を行い、ご本人、家族に確認して頂きサービス提供がご本人の意向に沿ったものであるか確認します。

ご本人の生活状況、身体状況に応じて柔軟に対応し、必要に応じて各専門職と連携を行い、適時、利用者が必要なサービスを受ける事が出来るように支援します。

- ② 各ヘルパーに対して、個別に研修計画を作成し、介護技術、生活支援の能力の向上を図っていきます。

各ヘルパーの長所はさらに伸ばし、短所は長所に転換できるように、個別に研修計画を作成します。又、サービス提供時に同行する事でヘルパーとの意思の統一を図っていきます。

- ③ サービス担当者会議に積極的に参加致し、ご本人や家族の状況把握に努めます。

新規依頼や介護保険更新に伴う、サービス担当者会議があった際

は、担当ヘルパーと一緒に担当者会議、契約に参加ヘルパー利用に至る経緯やご本人の支援内容について充分理解し、介護サービスの提供に努めます。

在宅介護を支える、家族の心身の健康状態についても適時アセスメントし、在宅介護が継続できるように様々な事柄について共に考え、必要な情報提供を行います。

令和 8 年度基本理念に基づく介護目標

ケアプランセンター クレーネ堺

1、 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守る。

- ☆ ご利用者の人権を尊重しご利用者の立場に立って支援していく。
- ☆ ご利用者ご家族のそれぞれの意向を確認し共感的な態度で話を傾聴する。

2、 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する。

- ☆ ご利用者の困難な部分を理解しその有する能力に応じて自立した日常生活が継続できるよう支援していく。
- ☆ ご利用者の状態把握に努め各関係機関と情報を共有する。

3、 やりがいのある介護を実践する。

- ☆ ご利用者の望む生活に寄り添い、住み慣れた自宅、地域での生活が継続できるよう支援していく。
- ☆ アセスメント力を向上させご利用者の状態にあったサービス提供を行っていく。

令和8年度 基本理念に基づく介護目標

住宅型有料老人ホーム メゾン・ド・ニアン

エージングライフ福祉会 クレーネ堺 介護目標

- 1 高齢者の人権を尊重し、共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する。
- 2 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する。
- 3 やりがいのある介護を実践する。

メゾン・ド・ニアン 介護目標

<基本方針>

住宅型有料老人ホーム メゾン・ド・ニアンでは「生活の場である」という観点から、利用者が明るく家庭的な雰囲気でも過ごせる事、又、やすらぎのある生活を送る中で必要なケアを受けることができるように体制を整えます。

入居者の思いや、願いを理解し、日々の支援を行います。

「生活の場」を重視した環境整備を行っていきます。

今年度は「心が満たされる介護」を目標として、入居者の思いに沿った介護を行います。

<取り組み>

① よりこまやかなサービスが提供できる体制を整えます。

日々の関わりの中からご本人の真のニーズをくみ取り介護サービスへと繋げていきます。入居者に状態変化があった際は、責任者が中心となって、各専門職との連携を図っていき、より入居者の状態にあったサービスが提供できる体制を整えていきます。サービス担当者会議についても積極的に行っていき、ご家族にも参加頂きます。

② 「その方に焦点あてたケア」を目指します。

認知症の周辺症状・BPSD といったことに対して、問題と捉えず、ご本人の思いを大切に、生活歴や環境、その他の要因等、入居者の特性をあらゆる角度から観察・把握することにより、よりよい状態を提供できるように努めます。

③ 身体拘束、行動の抑制は行いません。

緊急やむえない場合を省き身体拘束は行いません。行動の抑制についてもご本人の意思を尊重し行いません。多動の方については付き添いを行い心の安定を図ります。「座っていて下さい」と行動の抑制を目的にした言葉がけは禁止します。自由に行動して頂くことによって、転倒事故の増加が予想されますが、入居者の行動の特性を把

握し転倒要因を軽減していく事で、可能な限り転倒事故は防止していきます。

- ④ 食事の提供についてご本人の栄養状態に留意し、提供内容の見直しを行うと共に、食思の向上や安定を図る為に工夫致します。

食事の介助、配膳等の際は、五感を刺激する事、会話を楽しんで頂く事に留意します。行事食の際や誕生日食の際に一言添えるようにし、季節感を感じて頂くように致します「心温まる食事」を目指し、環境等のしつらえを行っていきます。

毎日の食事摂取状況や採血結果等を参照し、栄養状況のアセスメントを行い、必要な際はご本人の好まれる食事にし、捕食を多く取り入れるようにします。又、栄養士と相談し栄養補助食品について検討を行い、提案を行います。

- ⑤ ご家族との信頼関係の構築を図ります。より開かれた施設であるようにアクシデントがあった際も、積極的にご家族に連絡します。

面会に来られた際は、近況について責任者より説明を行います。入居者に転倒や発熱があった際は直ちにご家族に連絡し状態をご報告します。又、経過について随時連絡を行います。

⑥ 「心が満たされる介護」を目標に入居者にぬくもりと温かみを感じ

ていただけるサービスを実施していきます。

身体介助、環境整備、生活援助等、どの場面においても「業務」と捉えるのではなく、1対1の関りを大切にし、心のこもった支援を感じて頂けるように努めます。

⑦ 管理者、責任者を中心にチームケア力の強化を図ります。

- ・定期的に責任者同士のミーティングを行い、情報の共有を図っていきます。

- ・事故や感染が発生した際は、自らが主体となって問題の解決へ取り組みんでいきます。又、必要に応じて他部署との連携を図ります。

- ・介護職、宿直者への指導、助言、相談を随時行い、各職員の能力、モチベーションの向上を図ります。

- ・各職員に対して、計画的な指導を行っていきます。

- ・職員の働きやすい職場環境の構築に努めていきます。

- ・可能な限り、職員とのコミュニケーションの場を設け、職員の思いや、願いをケアに反映していきます。

令和8年度 事業計画書

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 31 日

社会福祉法人 エージングライフ福祉会
クレーネ大阪

令和 8 年度 特別養護老人ホーム クレーネ大阪 事業計画

1. 重点事業計画 利用定員 110 名（特養入所 100 名、短期入所 10 名、通所介護 25 名）

- 1) 特養入所通所介護稼働率を令和 7 年度 90.0%（入院を除く）から令和 8 年度 95.0%（入院を除く）を目指す。
- 2) 短期入所稼働率は令和 7 年度 104.0%となり、令和 8 年度も 100.0%を目指す。
- 3) 通所介護稼働率を令和 7 年度 74.0%から令和 8 年度 85.0%を目指す。

2. 事業運営基本方針

可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、施設サービス計画に基づいた、食事、入浴、排泄等の介護、個別ケアの確立、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他日常生活のお世話、機能訓練、健康管理及び療養上の援助を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とします。なお、サービスの提供にあたっては、利用者の人間性を尊重し、自立心や夢を損なわないように配慮するとともに、10 名のグループを 1 ユニットとし、個別性の高い支援を提供します。また、複合型の施設特性を活かしたサービス提供を実施するとともに、より地域に開かれた施設運営を行い、加えて社会貢献を実施するものとします。

3. 部門目標（特養・短期・通所介護）

今年度の部門目標としては、住み慣れた地域で家庭と同様の安心できるサービスの提供を目標とし、新たな課題への対応力を含めた職員のスキルアップとプロ意識の向上を図り、医療・介護両面からトータルサポートの充実を目指します。

(1)財務の視点

- ①特養入所稼働率 95.0%（入院を除く）、短期入所稼働率 100.0%、通所介護稼働率 85.0%を目指す。
- ②介護給付費における加算算定の適用を効果的に継続できるよう、業務体制等の安定的な確保に取り組みます。

(2)利用者・家族・地域の視点

- ①地域性を活かしたサービスを提供します。
- ②ユニット型特養の特性を活かし、利用者のニーズに柔軟に対応します。
- ③施設利用者の重度化に対応し、利用者が安心できるサービスを提供します。

(3)業務改善の視点

- ①生産性向上の取り組みもふまえ業務の効率化を図ります。